

医療経済学II(Health Economics II)

河井啓希/井深陽子

(ねらい)

- ① 経済学(ミクロ経済学、マクロ経済学)の考え方 → 政策評価
経済学(資源配分の効率性、公平性) ≠ カネ勘定(個々の損得)
- ② 医療保険制度の変遷、国際比較とその評価
- ③ データや実証研究を紹介する
- ④ referenceを極力示して興味に応じて発展可能にする
- ⑤ 分析手法や統計的方法

クラスページ(前半) <http://web.econ.keio.ac.jp/staff/hk/health/> pass:

(評価の方法)

毎回小テスト+4or5回レポート(A4×1枚)

Keio.jp <https://login.keio.jp/koid/> e-mail: hk@econ.keio.ac.jp

経済学=人間の合理性と相互依存性の科学

1 買い手と売り手の合理的選択行動(最適化)

(現在だけでなく将来も予想をもとに考慮、競争相手との相互依存も考慮)

買い手: 需要関数 $D(p)$ 、売り手: 供給関数 $S(p)$

2 買い手と売り手の相互依存を考慮(需給均衡、部分均衡)

3 当該市場だけでなく全市場での相互依存(需給均衡)を考慮

一般均衡分析(財・サービス、労働、資本): 風が吹けば、桶屋が儲かる

4 データを利用した理論の検証と活用→予測+戦略決定(EBPM)

POS DataなどBig Data利用→企業戦略や政策に応用

5 人間の合理性と相互依存性を前提に望ましい制度設計を考える

(授業計画)

河井担当分(マクロ分析)

1. ガイダンス: 経済学の考え方
2. 効率性と公平性: 厚生経済学の第1定理
3. 政策評価: 余剰分析
4. 医療規制の意義: 市場の失敗
5. 日本の医療費: 3要素、自然増、マクロモデル
6. 医療の財政学: 医療保険の受益と負担
7. 医療産業の経済波及: 産業連関分析

井深担当分(ミクロ分析)

1. 日本の医療制度: 医療提供体制
2. 日本の介護保険制度
3. 医師の労働市場
4. 公共財と外部性: ワクチン接種の事例をもとに
5. 行動経済学から得られる公衆衛生に対する知見 1: 理論
6. 行動経済学から得られる公衆衛生に対する知見 2: 応用
7. 発展途上国における医療保健の諸問題に対する経済学のアプローチ

(参考文献)

後藤勵・井深陽子『健康経済学 -市場と規制のあいだで-』有斐閣
橋本英樹・泉田信行『医療経済学講義』東京大学出版
河口洋行『医療の経済学 第3版』日本評論社
漆博雄『医療経済学』東京大学出版
村上雅子『社会保障の経済学』東洋経済新報社
講座 医療経済・政策学 全6巻 効率書房
永田宏『命の値段が高すぎる! -医療の貧困』ちくま新書
長谷川敏彦・松本邦愛『医療を経済する』医学書院
真野俊樹『医療のモンダイ』医学書院

厚生労働省編、『厚生労働白書』ぎょうせい

医療保険制度研究会『目で見る医療保険白書—医療保障の現状と課題』ぎょうせい

池上直己『ベーシック医療問題』日本経済新聞

J.E.スティグリツ『ミクロ経済学』東洋経済新報社 代表的テキスト

中泉真樹・鶴田忠彦『ミクロ経済学—理論と応用—』東洋経済新報社 医療の章がある

八田達夫『ミクロ経済学I・II』東洋経済新報社 余剰分析が詳しい

ベサンコ・ドラノブ他『戦略の経済学』ダイヤモンド社 医療の事例多い

(アンケート) 下記の項目に関するアンケートを keio.jp に記入してください

- ① 経済学についての知識 (科目名、テキスト名)
- ② 統計的方法についての知識 (科目名、テキスト名)
- ③ 興味のある項目
- ④ 授業に期待すること